

GIGAスクール構想の実現へ 児童・生徒に1人1台パソコンを整備

12月定例会
11月26日～12月14日

第4回定例会では、「中央児童館の指定管理者の指定について」など、25議案が市長から、また、議員提出議案2議案と委員会提出議案1議案が提出されました。議長を除く21人の議員で採決した結果、原案のとおり可決・承認・同意しました。(採決の結果は4ページ)

主な議案審議

◆国民健康保険税条例の一部改正

地方税法施行令の改正に伴い、国民健康保険税の減額に係る所得基準を見直すもの

Q 年金所得者の場合、申告不要で申告しない方がいるが、この場合、どのようにして減額判定を行うのか。

A 公的年金等所得者は、年金支払者から市に公的年金等支払報告書が提出され、それを基に算定した住民税の所得情報により、国税の減額判定所得を把握している。

◆自転車駐車場条例の一部改正

土地使用貸借契約の終了により、第6自転車駐車場を廃止するもの

Q 廃止に伴う利用者への影響をどう考えているか。

A 現在の利用状況は、常時5台から10台程度で、近くにある第5自転車駐車場の空き状況を勘案すると、廃止の影響はほとんどないと考える。

◆財産の取得

児童・生徒学習用端末(パソコン)等を取得するもの

Q GIGAスクール用パソコンの購入が3千347

台とあり、児童・生徒数に対して数が不足しているが、どのように準備するのか。
A 1人1台パソコンの整備は、令和元年5月1日の本市の児童・生徒数1万43人を基準とし、国の補助対象とならない児童生徒数の3分の1の3千347台は購入し、補助対象となる3分の2の6千696台はリース契約を締結する予定。小中学校全て同じ仕様の機器を整備するため、公募型プロポーザルにより、一括調達を進めている。小学校は令和3年2月から、中学校は3月からの運用開始を予定している。

Q GIGAスクール用パソコンの保管方法や管理方



得支援補助制度は、当初85件程度の申請を見込んだが、補正で100件と見込んだ。

Q 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業費の2千422万3千円の減額は、コロナに負けないノリやまの事業者応援金支給事業の完了によるものことだが、同事業の最終的な結果は。

A 市内で創業する小規模事業者と個人事業主を対象として事業の継続と雇用の維持を図るため、国の持続化給付金の取扱いに準じて、一定の要件の下、一律10万円を給付したもので、当初見込んだ2千880事業者の約93%、2千686事業者に対して給付した。一日でも早く事業者に届けたいとの思いで職員などが全力で取り組み、申請から一週間程度で振込手続が完了し、多くの事業者から感謝の言葉をいただいた。

◆特別職の給与条例の一部改正

Q 特別職の期末手当は、近隣市との差があるが、これは、これまでの人事院勧告の引上げに対応してこなかったものと考えるが、引下げのみ対応する理由は。

A 平成26年以降の過去6年間に、6年連続6回の期末手当の引上げ勧告があ



◆地域スポーツ施設、狭山台図書館の指定管理者の指定

Q 議案の事業者は、狭山市の公共施設の指定管理者他にも行っているが、その中で、サンパーク奥富の浴槽からレジオネラ属菌が検出され、原因究明及び必要な対応を取るため、11月18日から当面の間、温浴施設は休止となっている。こうしたことを承知した上で今回指定管理者として指定したのか。
A サンパーク奥富の事案



電子黒板を活用(富士見小音楽室)
(著作権の関係上、電子黒板の投影内容に画像処理をしています)



上:児童・生徒の学習用端末
下:各学級内の充電保管庫
(ともに富士見小)

法は。

A 原則は各学級の施設で、きる充電保管庫で管理し、必要に応じて授業で積極的に活用する。学校から指示が出た場合は、自宅に持ち帰ることも可能とする。

◆専決処分の承認(損害賠償、和解)

Q 市道での車両の損傷事故で、損害賠償額248万2千370円の内訳は。また、市の負担はあるのか。

A 賠償額の内訳は、車両の修繕費用が97万3千170円で、使用期間97日間の代車費用が150万9千200円である。この費用は本市が加入している全国市有物件災害共済会の道路賠償責任保険で全額対応しており、市の支出はない。

◆一般会計補正予算第9号

Q 移住・定住促進事業費で、親元同居・近居支援補助制度と若い世代の住宅取得支援補助制度の予算を増額補正するが、それぞれ何世帯分を見込んでいるのか。

A 親元同居・近居支援補助制度は、当初55件程度の申請を見込んだが、補正で70件と見込んだ。また、若い世代の住宅取

◆町の区域を新たに画することについて

Q 該当地区の町の名称が広瀬台四丁目が変わることだが、変更の時期は。

A 変更日は、土地区画整理法による換地処分公告のあった日の翌日からとなり、令和3年1月中旬から下旬を予定している。

GIGAスクール構想

GIGAとは「Global and Innovation Gateway for All」の略で、文科省が提唱する、児童・生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰ひとり取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育環境を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想。